

南無阿弥陀仏は
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



ある方の遺書に衝撃を受けた。

僕は医者である前に人間として不適合者です。僕が社会参加するとまわりの人達に迷惑をかけます。社会参加から離れ次の自分の居場所を見つけられませんが、居場所がないので自分を始末します。

余程の迷惑をかけたのか、自分自身に「人間不適合者」のレッテルを貼った。辞書に「適合とは条件や事情にぴつたり当てはまること」とある。

不適合者

世間は「適合」を大切にしている。仕事、受験、臓器移植、指紋認証……。あらゆるものに適合するか否かが問われる。私たちは無意識にその価値観に洗脳され、適合か不適合かが人間そのものの価値にまで及んでいると感じる。

昨年、相模原障害者施設殺傷事件があり十九名もの方々のいのちが奪われた。あまりの凄惨さに驚愕したが、実は犯人と遺書を書かれた方の理屈は合致する。唯一の違いは自分を始末したか他人を始末したかではない。そしてもっと恐ろしいのは、「この犯人は人間不適合者だ！」と批難する私の理屈とも合致していたことだ。

条件や事情に振り回されることに気が付かず「適合・不適合」と、人はおろか自分自身も裁こうとする。この危うさこそが私たちの共通課題だと教えられている。

(山崎 哲記)

去る3月7日(火)、30名のご参加を得て、
 仏教青年会レクレーション・「ダーツ&ビリヤード大会」を開催いたしました。荒川区にあるビリヤード場『アルビス』を貸切にさせていただき、まずはビリヤード体験、その後、豪華景品をかけたダーツ大会を行いました。

初めての方も久しぶりにされた方も、皆さん笑顔でビリヤードとダーツを楽しんでおられ、非常に活気



仏教青年会ダーツ&ビリヤード大会



のある会になりました。これからも皆さんが笑顔になれる企画を考えていきたいと思えます。興味のある方はぜひ担当の仲井までお問い合わせください。

(仲井 真裕 記)

西徳寺保全工事 進行状況のご報告

寺務所横にあります、お手洗いが綺麗になりました。男女とも洋式になり使いやすくなりました。現在第一会館の外壁塗装が進行中です。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



本堂横外部トイレ



第1会館正面入り口

親鸞さんのことば

斯れ乃ち権化の仁、
齊しく苦悩の群萌を救済し、
世雄の悲、正しく逆謗闡提を
惠まんと思はれてなり。
『教行信証』「総序」

松井憲一

親鸞聖人は、インドの王舎城(マカダ国の)の悲劇(二月号参照)は、すべての人を救わんとする浄土の教えが立ち上がる、大事なご縁であったと頂かれました。それで、その事件の渦中におられた人々を、「斯れ乃ち権化の仁」(私達をお念仏の教えに導くために、さまざまなたとえて現れてくださった御仁)と篤く感謝されます。

そのことを、ご和讃では、「弥陀釈迦方便して 阿難目連富樓那韋提 達多(提婆達多)闍王(阿闍世王)頻婆娑羅、耆婆月光行雨等。大聖のおのおのにも 凡愚底下のつみびとを 逆悪もらさぬ誓願に 方便引入せしめけり」(『浄土

和讃・觀經意)と詠われます。

ここで、「弥陀釈迦方便して」と、はじめに弥陀から詠われるのは、お釈迦様がお念仏の教えを説かれたもとには、阿弥陀仏の力がはたらいっていると言われたからであります。阿弥陀仏の本願がはたらかなければ、お釈迦様のすぐれた智慧でも、提婆達多を救うことができなかつたのです。それで「齊しく苦悩の群萌を救済し」という事業は、阿弥陀仏の本願のまことに触れられたお釈迦様の教えにおいて成立するといわれます。

「苦悩の群萌」とは、自我を出してツツパリながら、「泣かされてなお兄ちゃんに ついてく子」「ついてこい いったた人が ついて来る」「ついてこい いったたあなたを 置いていく」という「群萌」、群れ遇う中でしか生きられない苦悩するわれらのことです。そして、苦悩する心の底には、教えに遇いたいというきざしもあるので「萌」といわれます。そうした苦悩する状況から、人々を平等に救い出したいというので、「齊しく」といわれ、苦悩をご縁にして、人生を「あるがままに」深く受け止めさせたというので「救済し」といわれるのでしよう。

「世雄」は、仏の境地に住しておられるお釈迦様のことで、「悲」は、仏の教えから逃げようとするものも、あわれんで包もうとする深い心のことです。

「逆謗闡提」は、「逆」「謗」「闡提」の在り方です。「逆」は、「五逆」のことで、五つの逆罪のことです。父、母、よき師、よき友、そして仏縁のある人を傷つける五つの行いですが、大乘の五逆は、十不善の業(殺生・偷盜・邪淫・妄語・綺語・悪口・両舌・貪欲・瞋恚・愚癡の十悪)をするものも含めますから、五逆を逃れる人はいないのです。「謗」は「誹謗(しやぼう)正法(しょうぼう)を誹謗する」のことで、仏教の正しい真理を誹る行いです。「闡提」は、「闡提」ともいわれ、仏の教えを少しも信じない在り方です。

聖人は、この三つの在り方を、仏の教えによつて教化することが困難な在り方、治しがたい三病といわれ、「難化の三機、難治の三病は、大悲の弘誓を憑み、利他の信海(たりのきえう)に帰すれば、斯れを矜哀して治す。斯れを憐憫して療したまう(『教行信証』)」といわれます。

「逆謗闡提」は、どこかの誰かのことではありません。わたしがこ

こにあるのは、因縁によるのであって、わたしの作ったものではありませんからそのまま頂くほかないのですが、分別する心のある限り、どれほどがいても受け取ることができません。お釈迦様の「逆謗闡提」を恵まんと欲してなり(逆謗闡提にもいのちのゆたかさを恵もうとする)の教えに導かれて、「大悲の弘誓(阿弥陀の本願)を憑む」ほかないのです。聖人がつかわれる「たのむ」は、「憑む(深く信じておまかせすること)」「であつて、「依頼心」ではないのです。



山門の言葉

人の悪はとがめるが 自分の悪には気がつかない

大平 成雄



私は毎日、自転車通勤をしている。時間にして、ほんの五分くらいの距離ではあるが、その道中、ほぼ毎回見かけることがある。それは赤信号を無視して横断する人である。

急いでいるからか、車が来ていないから大丈夫だと判断しているのか、理由は分からないが、はっきりしているのは、赤信号と認識した上で渡っている。その行為を目撃するたびに、「非常識だ」、「自分勝手だ」という思いがこみ上げてくる。

しかし、よくよく思い返してみると、私自身はどうなのだろうか。「誰も見ていない」、「車が来ていない」と自分勝手な理由をつけて、同じことをしているではないか。むしろ人の批判ばかりして、自分のことを棚に上げている分、始末が悪い。

南無阿弥陀仏は、私のありのままの姿を映し出す鏡であると教えられ。今回の言葉の如く、他人の行爲ばかり批判し、自分をどこまでも正当化していく。そういうあり方をはつ

きりと照らし出してくるはたらきが念仏である。

物事を自分勝手な色眼鏡で分別判断する。その根本に隠れているのは、自我への執着である。いつも自分を頼りとし、自分の心を依り処として生活をしている。その姿として、冒頭に取り上げたような、非常に自己中心的なあり方になるのだろうか。

親鸞聖人は、そういう私たちの姿を『正信偈』で、「邪見憍慢の悪衆生」という言葉で表してくださっている。

日常生活の中で判断する善し悪しではなく、どこまでも自分を善とし、他を悪とする。それは他との関係を壊し、孤独な世界を創り出す。そういうことに無自覚なあり方に痛みを感じない。その生き方を仏教では、悪として明らかにされている。

念仏の教えに出遇うことによつて、今まで素通りしてきた日々の出来事が、実は我が身のあり方を問う大事な縁であったと気づかされるのである。
(蓮井 邦宗 記)

日誌

2月8日～15日 木村主任 長崎組 差向布教 派出
2月11日 同行会「現代の聖典」に聞く
法話 山崎 哲
2月13日～2月17日 本山・第十一次聞法推進員養成研修会
(高橋・仲井参加)
2月15日 婦人会聞法会
2月18日 定例聞法会、社交ダンス練習会、
混声合唱団「エコー」練習
2月19日 城南ブロック会聞法会
(馬込・東京イン 参加者22名)
2月23日 『唯信鈔』に聞く 講師 宗 正元師

2月27日・28日 宗祖忌
2月28日 仏教青年会座談会
3月3日 責任役員会・総代会
3月4日 評議員会定例役員会、社交ダンス練習会、
混声合唱団「エコー」練習、
同行会修習式
「現代の聖典」に聞く 法話 大橋 伊知郎
3月7日・8日 中興忌
3月7日 仏教青年会レクリエーション
「ダーツ&ビリヤード大会」参加者30名
3月8日 仏具磨き 参加者9名
3月10日 東京教区研修会(新横浜グレイスホテル
木村主任・高橋・仲井参加)

第 330 号

婦人会専用口座：
名義 西徳寺婦人会
番号 10030 239 82431

～法語カレンダーに聞く～ (2017年3月)

「一念慶喜するひとは 往生かならずさだまりぬ」

私たちの日常の喜びとは何だろうか。宝くじが当たった、子供、孫が受験に合格した等、さまざまあるが、何か努力が報われた時、喜びが湧いてくるのではないだろうか。しかし私たちの喜びというのは、非常に個人的であり、状況が一変すれば即座に怒りや悲しみに変わってしまうような不安定なものである。

仏教で明らかにされる喜びとは、往生が定まることであると教えられる。個人的な思いの中に埋没して生きている私のいのちが、実はさまざまないのちをいただいて生かされている。そのことに目覚めていく歩みが南無阿弥陀仏の道である。往生が定まるとは、どのような身、どのような境遇であっても、与えられたいのちを喜んで生きていける生活が開かれることではないだろうか。

(蓮井 邦宗)

婦人会総会・懇親会のご案内

日 時 平成 29 年 4 月 19 日(水) 午前 11 時
場 所 総 会：本堂
懇親会：梅檀の間
会 費 無料
締 切 4 月 12 日(水) お弁当予約のため、必ず申し込んで下さい
年会費 3,000円

次回聞法会のご案内

日 時 28 年 5 月 17 日(水) 午後 1 時～ 3 時
場 所 西徳寺 星月の間
法 話 法語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)
「大信心は仏性なり 仏性すなわち如来なり」
最高顧問 大谷 義博
蓮井 邦宗

ひとこと

一昨年、69 年間に共に過ごした主人が他界しました。昨年秋には自宅前で転び、大腿骨骨折手術と 43 日間の入院で婦人会へ伺えず、ようやく歩けるようになりました。

私が主人のいない深い悲しみを乗り越えることができたのも、苦しいリハビリに耐えながら歩けるようになったのも、周囲の皆様にご温かく見守っていただけましたからです。

この 4 月には主人の三回忌を迎えます。これからも感謝の気持ちを忘れずに参加いたします。よろしくお祈りいたします。

(星野 登代子)

掲示 板

平成29年4月

- 8日(土) 午後6時 同行会総会 「現代の聖典」に聞く
法話 高橋 淳
- 15日(土) 午後1時半 定例聞法会
午後3時15分 混声合唱団「エコー」総会・練習
- 16日(日) 午後2時 中央ブロック会総会・聞法会
(湯島天神 梅香殿)
- 19日(水) 午前11時 婦人会総会
- 22日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
- 25日(火) 午後7時 仏教青年会総会
- 26日(水) 午後1時半 『唯信鈔』に聞く 講師 宗 正元師

「仏具磨き」お手伝い ありがとうございました!

3月8日(水)、快晴の天候の中、8名の方々に「春の仏具磨き」をお手伝い頂きました。常連の皆さんはとても手際が良く、すべての作業が午前中に終了しました。本堂に場所を移して丁寧に仏具を磨き込んでくださり、合わせて本堂参詣席の掃除もしていただきました。

作業終了後、昼食は恒例の「西徳寺特製カレーライス」を皆さんと一緒に美味しくいただきました。

お陰様で「春の永代経法要」は綺麗に磨かれた仏具で荘厳された本堂でお勤めさせていただきました。ご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。(木村 専正 記)

- 【お手伝いくださった方々】 順不同
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 橘悦子様 | 金子佳子様 | 猪口可津子様 | 柿沼一郎様 |
| 谷口博一様 | 小山光子様 | 中条啓助様 | 高崎勝子様 |

聞法会だより 城南ブロック会

2月19日(日)2時より馬込・東京インにて20名の参加をもって城南ブロック会聞法会が開催されました。2名の方が初参加され、他ブロックから3名の方々がご来場されました。

住職からは念仏世界は師や友の存在が非常に大切だとお話しを頂きました。しかし残念ながら所用のため懇親会に参加できず戻られ、入れ替わるように大谷顧問が懇親会より合流されるという形になりました。

懇親会では「本能と煩惱の違いは何か」という質問が飛び出し、大谷顧問から「本能は生まれつき具わっているが、煩惱は執着する物事に触れて突然起こるもの」とお話しされ、皆、一様に頷いておりました。

次回は5月21日大井町きゅりあんで開催致します。振るってご参加下さい!

編集後記

1月から始まった「西徳寺保全工事」も間もなく3ヶ月が経ちます。南側の水場や外部トイレの改修も終わり、工事は着々と進捗しております。これからはトイレや水回りなどに取掛かる予定です。

そんな中、山門の石畳に出来たわずかな段差につまずく方の存在を聞かされ、ご門徒の皆さんに喜んでいただく為に始まった工事ではありますが、これからは様々な状況を想定して取り組まねばならないことを再認識させられました。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス:

HP <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。(メールでも結構です)

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

えこお志お礼

名古屋市 西村 知津 様
品川区 木原 麗子 様
越谷市 隠岐 弘子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

聞法会だより 城北ブロック会

去る3月12日(日)、北区王子・「北とびあ」におきまして、聞法会を行いました。初参加者1名を含む18名のご参加をいただき、今回も皆様と『正信偈』の「天親菩薩2」について学ばせてもらいました。木村主任は法話の中で、「ばらばらに生きている私たちが、共に生きていける世界は仏法の世界しかない」と話されていました。

席を移した懇親会では、日々の悩みや、今後の聞法会についてのご意見など、様々なお話をさせていただきました。これからも会員の皆様と話し合いながら、聞法会を進めてまいります。

次回は6月11日(日)、川口リリアにおきまして総会・聞法会を行う予定です。初めての方でも遠慮なくご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。(仲井 真裕 記)

